

科 目 名	医療コミュニケーション学		[科目番号：41718120]																																										
タ ー ム	S1	単 位 数	2単位																																										
曜日・授業時間帯	火曜3、4時限																																												
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室																																												
担 当 教 員	木内貴弘、他																																												
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>																																												
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回1テーマの講義を行う。 ・ テーマに基づいた追加資料の配布やグループワークを行うことがある。 																																												
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<table border="1"> <tr> <td>4月10日3限</td> <td>医療コミュニケーション学概論</td> <td>木内貴弘</td> </tr> <tr> <td>4月10日4限</td> <td>ヘルスコミュニケーションの研究 コミュニケーションの分析方法と実証研究</td> <td>奥原剛</td> </tr> <tr> <td>4月17日3限</td> <td>患者・市民の教育 賢い患者・市民を育てる取り組み</td> <td>山口育子 (COML)</td> </tr> <tr> <td>4月17日4限</td> <td>ヘルスコミュニケーション:がん対策への実践と応用</td> <td>高山智子 (国立がん研究センター)</td> </tr> <tr> <td>4月24日3限</td> <td>政策形成とアドボカシーのコミュニケーション アドボカシーの概念と人材育成</td> <td>神馬征峰 (国際地域保健学)</td> </tr> <tr> <td>4月24日4限</td> <td>グループ・組織のコミュニケーション 多職種連携とリーダーシップ</td> <td>石川ひろの</td> </tr> <tr> <td>5月8日3限</td> <td>ヘルスコミュニケーションの方略① 個人の行動変容を促すコミュニケーション</td> <td>石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)</td> </tr> <tr> <td>5月8日4限</td> <td>ヘルスコミュニケーションの方略② 集団の行動変容を促すコミュニケーション</td> <td>石川善樹 (キャンサーキャン)</td> </tr> <tr> <td>5月15日3限</td> <td>メディアコミュニケーション①: 新聞</td> <td>本田麻由美 (読売新聞)</td> </tr> <tr> <td>5月15日4限</td> <td>ヘルスコミュニケーションの方略③ 行動変容を促す保健医療文書の作り方</td> <td>奥原剛</td> </tr> <tr> <td>5月22日3限</td> <td>メディアコミュニケーション②: テレビ</td> <td>市川衛 (NHK)</td> </tr> <tr> <td>5月22日4限</td> <td>ヘルスコミュニケーションの方略④ エンターテイメント・エデュケーション</td> <td>加藤美生</td> </tr> <tr> <td>5月29日3限</td> <td>メディアコミュニケーション③: インターネット</td> <td>中山和弘 (聖路加国際大学)</td> </tr> <tr> <td>5月29日4限</td> <td>まとめ: グループ討論と総合討論</td> <td>加藤美生、奥原剛</td> </tr> </table>			4月10日3限	医療コミュニケーション学概論	木内貴弘	4月10日4限	ヘルスコミュニケーションの研究 コミュニケーションの分析方法と実証研究	奥原剛	4月17日3限	患者・市民の教育 賢い患者・市民を育てる取り組み	山口育子 (COML)	4月17日4限	ヘルスコミュニケーション:がん対策への実践と応用	高山智子 (国立がん研究センター)	4月24日3限	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション アドボカシーの概念と人材育成	神馬征峰 (国際地域保健学)	4月24日4限	グループ・組織のコミュニケーション 多職種連携とリーダーシップ	石川ひろの	5月8日3限	ヘルスコミュニケーションの方略① 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)	5月8日4限	ヘルスコミュニケーションの方略② 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (キャンサーキャン)	5月15日3限	メディアコミュニケーション①: 新聞	本田麻由美 (読売新聞)	5月15日4限	ヘルスコミュニケーションの方略③ 行動変容を促す保健医療文書の作り方	奥原剛	5月22日3限	メディアコミュニケーション②: テレビ	市川衛 (NHK)	5月22日4限	ヘルスコミュニケーションの方略④ エンターテイメント・エデュケーション	加藤美生	5月29日3限	メディアコミュニケーション③: インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)	5月29日4限	まとめ: グループ討論と総合討論	加藤美生、奥原剛
4月10日3限	医療コミュニケーション学概論	木内貴弘																																											
4月10日4限	ヘルスコミュニケーションの研究 コミュニケーションの分析方法と実証研究	奥原剛																																											
4月17日3限	患者・市民の教育 賢い患者・市民を育てる取り組み	山口育子 (COML)																																											
4月17日4限	ヘルスコミュニケーション:がん対策への実践と応用	高山智子 (国立がん研究センター)																																											
4月24日3限	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション アドボカシーの概念と人材育成	神馬征峰 (国際地域保健学)																																											
4月24日4限	グループ・組織のコミュニケーション 多職種連携とリーダーシップ	石川ひろの																																											
5月8日3限	ヘルスコミュニケーションの方略① 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)																																											
5月8日4限	ヘルスコミュニケーションの方略② 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (キャンサーキャン)																																											
5月15日3限	メディアコミュニケーション①: 新聞	本田麻由美 (読売新聞)																																											
5月15日4限	ヘルスコミュニケーションの方略③ 行動変容を促す保健医療文書の作り方	奥原剛																																											
5月22日3限	メディアコミュニケーション②: テレビ	市川衛 (NHK)																																											
5月22日4限	ヘルスコミュニケーションの方略④ エンターテイメント・エデュケーション	加藤美生																																											
5月29日3限	メディアコミュニケーション③: インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)																																											
5月29日4限	まとめ: グループ討論と総合討論	加藤美生、奥原剛																																											
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石川ひろの 編. 人間関係論 (系統看護学講座 基礎分野). 医学書院. 2018 ・ 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 ・ Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 ・ Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 5th ed. Oxford University Press. 2016 ・ Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 																																												
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。																																												
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。健康社会学、健康教育学、医学研究と CDISC 標準、等と関連する。																																												